

## 【一般選抜】一般入学試験(1期・2期)

〔併願制〕

この入学試験は、高等学校等でこれまで身につけてきたスキルや学力について、実技や作品、学力試験や面接などを通じて、総合的に評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

### 募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。(第1志望のみでも構いません。) 〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

美術領域 分類

(Ⅰ類:日本画コース、Ⅱ類:洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類:コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類:美術総合コース)

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

### 出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
  - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
  - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
  - (4) 文部科学大臣が指定した者
  - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
  - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

### 出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書(任意)
  - ④実技曲目記入用紙 ⑤作品提出記入用紙 ⑥声楽曲伴奏楽譜 ⑦作品(事前提出)
- ※③は美術領域、デザイン領域志願者(2期のみ)。  
 ※④～⑦は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。  
 ※⑦はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須(2期のみ)。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

## 選考方法

### 芸術学部 芸術学科 音楽領域

#### 〈1期・2期〉

コース	選考方法① <sup>*1</sup>	選考方法②
声楽コース	専門試験(専攻実技(約10分・100点)+副科ピアノ(約10分・50点)+楽典(50分・50点))	+ 個人面接 (約10分・100点)
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)	専門試験(専攻実技(約10分・150点)+楽典(50分・50点))	
弦管打コース	専門試験(専攻実技(約10分・100点)+副科ピアノ*(約10分・50点)+楽典(50分・50点)) *ギター志願者は免除	
ウインドアカデミー コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・指揮実技(約10分・200点) ・小論文(50分・200点)	
ポップス・ロック& パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・ヴォーカル(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点)	
ワールドミュージック・ カルチャーコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 <sup>*2</sup> (100分・200点)	
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)	
ダンスパフォーマンス コース	専門試験(ダンス・パート)(約10分・200点)	
声優アクティング コース	専門試験(表現力)(約10分・200点)	
サウンドメディア・ コンポジションコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出](200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 <sup>*2</sup> (100分・200点)	
ミュージック エンターテインメント・ ディレクションコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・小論文(50分・200点) ・学科試験 <sup>*2</sup> (100分・200点)	
音楽ケアデザイン コース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・学科試験 <sup>*2</sup> (100分・200点)	
音楽総合コース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出](200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 <sup>*2</sup> (100分・200点)	

※1 詳細内容については、[「選考方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

※2 「学科試験」の1期は「英語<sup>\*3</sup>」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験、2期は「英語<sup>\*3</sup>」「数学」「国語」から2科目受験

※3 「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

#### 〈学科試験の出題範囲〉

「英語」:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ」「数学」:数学Ⅰ・A」「国語」:国語総合(漢文を除く)」

「地理歴史」:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)」

**芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域**

**〈1期〉**

コース	選考方法
全コース	学科試験 <sup>*1</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)

**〈2期〉**

コース	選考方法
全コース	学科試験 <sup>*1</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で合否を決定(100分・100点)

※1 「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)  
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

**〈学科試験の出題範囲〉**

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕

〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)〕

**芸術学部 芸術学科 美術領域**

**〈1期〉**

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 <sup>*4-5</sup> (約10分・100点)
	・実技(水彩) <sup>*1</sup> (6時間・200点)	
	・実技(油彩) <sup>*1</sup> (6時間・200点)	
	・実技(鉛筆デッサン) <sup>*1</sup> (6時間・200点)	
	・実技(木炭デッサン) <sup>*1</sup> (6時間・200点)	
	・オリジナルな表現テスト <sup>*2</sup> (4時間・200点)	
	・学科試験 <sup>*3</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)	

※1 「実技試験」選択者は、実技で使用する描画用具一式を持参すること。なお、実技試験で使用する木炭紙、画用紙(65×50cm)、およびデッサンで使用するカルトンは本学で用意します。

※2 「オリジナルな表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する自分の考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

※3 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)  
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※4 「個人面接」の資料としてポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。

※5 「実技(鉛筆デッサン)」「実技(木炭デッサン)」の受験者は、「個人面接」を実技試験中に実施します。

**〈学科試験の出題範囲〉**

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか)〕

**〈2期〉**

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
	・自己作品持参によるプレゼンテーション <sup>*1-2-3</sup> (約10分・200点)		
	・学科試験 <sup>*4</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕から2科目受験(100分・200点)		

※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品2点以上を持参すること。

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※4 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)  
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

**〈学科試験の出題範囲〉**

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期〉

コース	選考方法
先端メディア表現コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「構想表現テスト」* <sup>1</sup> (作品制作:3時間+プレゼンテーション:10分・200点)
	・学科試験* <sup>8</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)
文芸・ライティングコース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「文章表現テスト」* <sup>2</sup> (4時間・200点)
	・学科試験* <sup>8</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)
上記以外	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「鉛筆デッサン」* <sup>3</sup> (4時間・200点)
	・「考え方の表現テスト」* <sup>4</sup> (4時間・200点)
	・「色彩構成テスト」* <sup>5</sup> (4時間・200点)
	・「立体構成テスト」* <sup>6</sup> (4時間・200点)
	・「自己表現力テスト」* <sup>7</sup> (約15分・200点)
	・学科試験* <sup>8</sup> 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)

- ※1 「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表現力を問うものです。
- ※2 「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。
- ※3 「鉛筆デッサン」選択者は、実技で使用する用具一式を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。
- ※4 「考え方の表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。
- ※5 「色彩構成テスト」で受験する場合、鉛筆、消しゴム、定規(直・三角)、はさみ、カッターナイフ(サークルカッターは除く)を持参すること。なお、着色等に用いる画材は本学で用意します。
- ※6 「立体構成テスト」で受験する場合、鉛筆、消しゴム、定規(直・三角)、はさみ、カッターナイフ(サークルカッターは除く)を持参すること。
- ※7 「自己表現力テスト」は、受験者1名が15分の自己アピールを行います。自己アピールに用いる持参作品の形式は基本的に自由です(平面作品、立体作品、映像作品、その他多様な表現による作品を持参することが可能)が、あらかじめその形式を出願の際、備考欄に入力してください。なお、形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とする場合は、再生装置も持参してください。
- ※8 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照) CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目]

〈2期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション* <sup>1</sup> (約10分・200点)	個人面接* <sup>2</sup> (約10分・100点)	プラスα加点(最大50点)

- ※1 「自己作品持参によるプレゼンテーション」は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(サイズは自由)または現物5点以上持参してください。〔文芸・ライティングコース〕の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類と同封のうえ事前提出すること。
- ※2 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ、自己アピール資料があれば持参可。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	学科試験*〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)

〈2期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	学科試験*〔英語〕〔数学〕〔国語〕から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で合否を決定(100分・100点)

- ※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照) CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕

〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)]

**教育学部 子ども学科**

**〈1期〉**

コース	選考方法
全コース	学科試験*〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)

**〈2期〉**

コース	選考方法
全コース	学科試験*〔「英語」「数学」「国語」から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で合否を決定(100分・100点)〕

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)  
 CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

**〈学科試験の出題範囲〉**

〔**英語**:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔**数学**:数学Ⅰ・A〕〔**国語**:国語総合(漢文を除く)〕

〔**地理歴史**:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)〕